

平成25年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

1 小学校6年生

ア 教科の状況

○状況をみるにあたって

- ・ 教科別・区分別に次の3段階で示す。
「たいへんよくできている」: 正答率8割以上
「おおむねできている」: 正答率5割以上8割未満
「努力を要する状況である」: 正答率5割未満
- ・ それぞれの教科で、優れている内容(○: 正答率7割以上)と努力を要する内容(△: 正答率5割未満)の一部を紹介する。

○教科別・区分別状況

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	おおむねできている< 正答率約6割強 >	努力を要する状況である< 正答率約5割弱 >
	○漢字を正しく読む。 ○ことわざの意味を理解する。 △文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。	○相手の立場や状況を感じ取って聞く。 ○話し手の意図を捉えながら、効果的に助言する。 △目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書いたり、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを具体的に書く。
算数	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	おおむねできている< 正答率8割弱 >	おおむねできている< 正答率6割弱 >
	○整数の四則計算、()を用いた計算をする。 ○立体図形の特徴を見取図と展開図とを対応させて理解する。 △人口密度や燃費のように、割合として捉えられる数量について、その比べ方や表し方を理解する。	○図形を観察し、示された図とその図の説明とを対応させる。 ○グラフの特徴を基に、数量の大小と変化の様子を関連させて捉える。 △表の数値を基に、二つの数量を比例関係を考慮しながら数学的に表現する。

イ 学習・生活習慣等の状況

○状況をみるにあたって

- ・ 学習・生活習慣等の状況調査を基本的な生活習慣・学校、家庭に居場所・自己肯定感・規範意識・家庭学習等の観点から分析した本市の全体傾向は、国とほぼ±2ポイントの範囲内であり、同様の傾向を示している。その中で、国と比較して、肯定的な回答の割合が高い項目(○: 国平均より3ポイント以上高い)、低い項目(△: 国平均より3ポイント以上低い)の代表的なものを紹介する。

全体の傾向	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日朝食をとる、決まった時間に就寝・起床するなど基本的な生活習慣を身に付けている児童が大多数である。 ・ 自分のよいところがあると答える児童の割合が高く、夢や目標をもって生活している児童が多い。 ・ 学校が楽しく、友達に会うのが楽しいと感じている児童が大多数である。 ・ 大多数が規則を守って生活しており、人の役に立ちたい、思いやりのある人になりたい等の気持ちを持った児童が多い。 	
国との比較	
○学校が楽しい。友達と会うのは楽しい。 ○自分にはよいところがあると思う。	△テレビ・コンピュータゲームをする時間が長い。 △国語の授業で、自分の考えを説明したり、文章に書いたりするのは難しい。

ウ 今後の取り組み

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none"> ・文及び文章の構成に関することについて、指示語や接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解させ、文章を書く様々な機会をとらえ、文脈を意識して使うことを指導し習得させる。 ・記述に関することについて、適切な引用の仕方や内容の関係付けの仕方を習得させ、目的や意図に応じて記述する活動を工夫しながら活用を図り、自分の考えを具体的に書くことができるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係や二つの量の割合に関することについて、基本となる事柄をもとに意味を理解させ、類似する内容での比べ方や表し方について習得させる。 ・二つの数量関係の数学的な表現に関することについて、表の数値の意味の理解と基本となる表現の仕方の習得を図り、様々な場面で活用できるようにさせる。

エ その他

- ・この調査の結果は、学力の特定の一部である。

・この調査の詳細は、「平成25年度全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料」のホームページ(国立教育政策研究所ウェブサイト)より確認できる。

<http://www.nier.go.jp/13chousakekkahoukoku/index.html>

2 中学校3年生

ア 教科の状況

○状況をみるにあたって

- ・教科別・区分別に次の3段階で示す。
「たいへんよくできている」: 正答率8割以上
「おおむねできている」: 正答率5割以上8割未満
「努力を要する状況である」: 正答率5割未満
- ・それぞれの教科で、優れている内容(○: 正答率7割以上)と努力を要する内容(△: 正答率5割未満)の一部を紹介する。

○教科別・区分別状況

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	おおむねできている<正答率8割弱>	おおむねできている<正答率7割弱>
	○随筆の描写に注意して読み、その効果を考えながら内容を理解する。 ○話すための材料を多様な方法で集め、論理的な構成や展開を考えて話す。 △文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く。	○文章の展開に即して内容を捉え、読み取る。 ○表現の仕方に注意し、その効果を考える。 △説明的な文章を読み、段落相互の関係や文章と図の関係を捉える。
数学	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
	おおむねできている<正答率6割強> ○四則計算、整式の加法・減法、一元一次方程式の計算をする。 ○見取図・投影図から空間図形を読み取ったり、平行線と角の関係を捉えたりする。 △関数・確率・相対度数の意味の理解をする。	努力を要する状況である<正答率4割強> ○与えられた資料や表から情報を適切に選択し、その特徴を的確に読み取る。 ○数学的に表現された結果を事象に即して解釈する。 △図形において、示された方針に基づいて証明したり、新たな方針を立てて証明したりする。

イ 学習・生活習慣等の状況

○状況をみるにあたって

- ・学習、生活習慣等の状況調査を基本的な生活習慣・学校、家庭に居場所・自己肯定感・規範意識・家庭学習等の観点から分析した本市の全体傾向は、国とほぼ±2ポイントの範囲内であり、同様の傾向を示している。その中で、国と比較して、肯定的な回答の割合が高い項目(○: 国平均より3ポイント以上高い)、低い項目(△: 国平均より3ポイント以上低い)の代表的なものを紹介する。

全体の傾向

- ・毎日朝食をとる、決まった時間に起床する等、基本的な生活習慣を身に付けている生徒が大多数である。
- ・自分のよいところがあると答える生徒の割合が高く、最後までやり遂げる達成感を感じたことがある生徒が多い。
- ・学校が楽しく、友達に会うのが楽しいと感じている生徒が大多数である。
- ・大多数が規則を守って生活しており、人の役に立ちたい、思いやりのある人になりたいなどの気持ちを持った生徒が多い。

国との比較

- 土曜日に部活動をして過ごす。 △学校や地域の図書館を利用する。
- 数学ができるようになりたいと思う。 △地域の行事に参加する。

ウ 今後の取り組み

国 語	数 学
<ul style="list-style-type: none">・書くことについて、語句や文の使い方、段落相互の関係や文の接続などを理解させ、伝えたい事柄を明確にした書き方を習得させる。・説明的文章を読むことについて、段落相互の関係や文章と図との関係の基本形をもとに習得させ、様々な説明文においてもそのことを活用させながら同じように読み取ることができるようにさせる。	<ul style="list-style-type: none">・関数や確率、相対度数などの理解のために、実生活に即したものや活動を取り入れた学習をすすめ、習得を図る。・図形の定義や性質、証明の方法を確実に習得させ、証明において、示された方針や新たな方針を使って、仮定から結論を導く過程を的確に表現できるようにする。

エ その他

- ・この調査の結果は、学力の特定の一部である。

・この調査の詳細は、「平成25年度全国学力・学習状況調査 調査結果について」のホームページ(国立教育政策研究所ウェブサイト)より確認できる。

<http://www.nier.go.jp/13chousakekkahoukoku/index.html>